



地域子育てネットワークだより

平成31年2月号

発行／兵庫県子育て応援ネット推進協議会事務局

〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1 兵庫県企画県民部男女家庭課 電話:(078)341-7711 内線 2798

E-MAIL: danjokatei@pref.hyogo.lg.jp

http://web.pref.hyogo.lg.jp/kk17/network-dayori.html

子育て応援ネット全県大会を開催します！

とき：平成31年2月14日（木）13:00～15:30

ところ：兵庫県公館 大会議室

家庭・地域・学校が連携し、地域ぐるみで子どもを育て見守ることが、ますます必要とされているなか、「子育て応援ネット」の活動事例などを交えながら、地域の子育て支援をどのように進めていけばよいのかについて、みんなで考えます。

- ◆ 幼保連携型認定こども園光愛児園（神戸市灘区）の園児のみなさんによる合唱
- ◆ 子育て応援ネット活動事例発表 2団体
 - ・高砂市地域子育て支援ネットワーク（東播磨）
 - ・三木市女性団体連絡協議会（北播磨）
- ◆ 基調講演
「社会による子育てを考える 家庭の役割と社会の役割」
森 茂起 氏（甲南大学文学部人間科学科教授）

参加無料！



〈お問合せ先〉

兵庫県企画県民部女性青少年局男女家庭課家庭応援班

電話：(078)362-4185（直通） / FAX：(078)362-3891 E-MAIL: danjokatei@pref.hyogo.lg.jp

「ひょうご子育て応援の店」 パソコンで会員登録可能に！

県では、企業・店舗等が18歳未満の子どもがいる子育て世帯に割引・特典等のサービスを行う「ひょうご子育て応援の店」を実施しています。現在約88,000世帯がパスポート会員として県内約4,800店の協賛店から物販、飲食等の際に、サービスを受けています。平成29年4月からはパソコンからの会員登録も可能になりました。ぜひこの機会にご登録ください。



サービス内容の例 ※各企業・店舗等の企画により特典は異なります。

- ・料金の割引（特定日に割引、ポイント加算、景品プレゼント等）
- ・協賛店が主催する行事への参加（子ども向け行事への参加等）
- ・子ども連れにやさしい設備の利用（プレイルーム、授乳室、ベビーベッドの利用等）

このマーク
が目印!!

★協賛企業・店舗等の検索・サービス内容確認など詳しくは・・・「ひょうご子育て応援の店」ホームページ <http://www.hyogo-kosodate.jp/> 【問合せ先】男女家庭課 078-362-3385

応援ネットの 活動紹介

声かけ・見守り活動
などで子育て家庭を
応援する「子育て応援
ネット」の各地の取り
組みを紹介します。

丹波市では地域子育てネットワーク事業を推進するため、子育て支援連絡会を組織しています。構成団体は丹波市内の様々な分野で活動している 17 団体で、年間2～3回の役員会を実施し、どのような事業や支援を行うか協議しております。

近年では発達障がいのある子どもへの理解を深めるための講演会や、親子の絆を深めることを目的にした「こども食堂・こども服交換会」などの活動に取り組んでおり、2月には地域のコミュニケーションの活性化をテーマにした講演会も実施いたしました。

また、「子育て応援ネット全県大会」にも多数参加するなど、意識の向上や、情報の収集にも積極的に取り組んでいます。

子育て世代、子育てを支援する世代に向けての呼びかけや講演会などの活動を通じ、子育てについて親が一人で悩まないように、地域とともに子どもを育む環境づくりを行っています。

丹波市子育て支援連絡会 会長 臼井 里佳



まちの子育て ひろばの紹介



揖保郡太子町のにじいろひろばは幼保連携型認定こども園 二葉にじいろこども園内にある、子育てひろばです。

園舎の周りには山や池があり、そこにはメダカ、カメ、野鳥などが生育していて自然がいっぱいです。

活動としては、親子のスキンシップやお母さんのリフレッシュタイムにもなるよう、月1回程度、0・1歳児はベビーマッサージ、2・3歳児はリズム体操、誕生月の子は月1回あるお誕生日会などに参加しています。

また、毎週土曜日には園庭解放や子育て相談にも対応しています。

毎年秋には、園児親子と一緒に親子バス旅行、3月にはお別れ遠足を実施しています。

このひろばが、子育ての支援の場になるように今後も活動を広げたいと思います。

二葉にじいろこども園 にじいろひろば
高田 清美



コンプレックスを長所に

県立こども病院名誉院長 中村 肇

連載
第138回

外見上のコンプレックスを武器に海外でも活躍する日本人女性4人組のバンド・CHA I（チャイ）を、年初のNHKテレビのクローズアップ現代が取り上げていました。渡辺直美さんとトレンディエンジェルの斎藤司さんの二人の芸人がゲストとして参加し、コンプレックスに悩む人たちに元気を与えてくれる番組でした。

学校生活は、マジョリティー（多数派）の中にいると居心地はいいのですが、マイナリティー（少数派）になると、毎日の生活が息苦しく、不登校になります。人はコンプレックスをもつと、自分をマイナリティーの殻に閉じ込めがちですが、そのコンプレックスは他人が持つことのできない特性だと考えれば、大きな長所になるのです。

何もかもが横並びの情報化社会では、マイナリティーの人たちのもつ感性が大切にされ、注目される時代なのです。